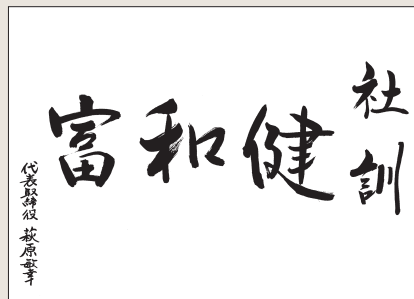


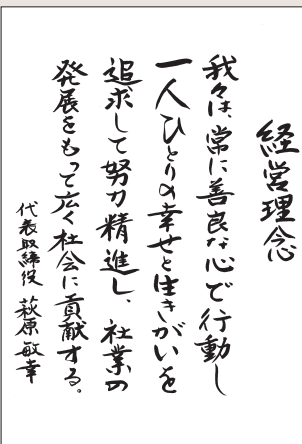
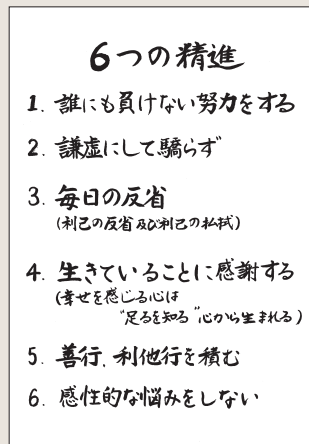
— 心・技・体を磨き高め、地域社会に貢献する会社を目指して —

株式会社 萩原技研

所在地：〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町16-20
 TEL：099-222-8700
 FAX：099-222-6100
 URL：https://hagiharagiken.co.jp/
 社員数：88名
 代表者：代表取締役 萩原 功一郎



社屋全景【日経ニューオフィス賞にて「九州経済産業局長賞」を受賞】



会社の概要とあゆみ

当社は昭和51年4月、鹿児島市新屋敷町にて「萩原測量設計」として創業し、令和8年度には創業50周年を迎えました。平成2年には同市山下町に社屋を構え、「技術を磨く」会社を目指すべく、社名を「株式会社萩原技研」に改めました。平成29年には新社屋を建設し、その後も社員数の増加に伴い手狭となったことから、増築を行い、フロア面積は約2倍となりました。

創業時は3名であった社員数も、現在では88名となり、多くの仲間と共に歩みを進めております。業務領域も「測量」「土木関係の調査・設計（道路・河川・砂防・急傾斜・港湾）」「用地・補償」「地籍」「農地」「林務」と徐々に拡大してきました。

また、令和8年1月1日から鹿児島市交通局の電停ネーミングライツパートナーとして、「水族館口」電停に「萩原技研前」の副呼称が追加され、電停標識や電車内放送、路線案内図等に反映されております。

会社の「社訓」・「経営理念」・「行動スローガン」

社 訓 健 和 富
経 営 理 念 我々は、常に善良な心で行動し、一人ひとりの幸せと生きがいを追及して努力精進し、社業の発展をもって広く社会に貢献する。

行 動 スローガン 心・技・体を磨き高め、積極的に行動しよう。

社訓と経営理念は、創業者が推敲に推敲を重ね36年前につくりあげたものです。建設コンサルタントとして技術力の向上はもちろん重要ですが、それと同様に「善良な心で行動しなければ事業の成功はない」と考えています。そのため、始業時の10分ほどの朝礼を「心を磨き高める場」と位置づけ、日々取り組んでおります。

朝礼では、社員の思いを一つにするため、「経営理念」「行動スローガン」「6つの精進」を唱和しています。また、「職場の教養」を音読し、感想を簡潔に述べ合うことで、互いの考えに耳を傾け、自身の考え方を整理するとともに、多様な価値観を学んでおります。



最寄り電停 社長のおごり自販機



打合せスペース（上下昇降式電動デスク）



執務室（上下昇降式電動デスク）



20種類以上のドリンク提供スペース



パウダールーム



清掃活動

「地域社会」への貢献

社屋のある鹿児島市山下町は鹿児島城（鶴丸城）の城下町です。周辺の歴史ある景観を守るため、毎朝歩車道の清掃活動を行っています。また、国道10号（歴史と文化の道）のボランティア・サポート・プログラムにおいては、毎月清掃活動を実施しており、今年で15年目となりました。土木災害発生時の対応についても、会社を挙げて最優先で取り組んでおります。令和7年度の8月には道路・河川災害が複数発生しましたが、社員一人ひとりが使命感を持って対応し、現地調査、被災状況の取りまとめ、応急復旧設計等に尽力いたしました。

「働きやすい会社」へのあくなき探求

当社では「完全週休2日制」を導入し、令和8年度の年間休日は125日（+夏期休暇3日）としています。令和7年度の平均有給休暇取得日数は13.5日、月平均所定外労働時間は5.2時間となりました。公私のバランスが取れる環境づくりを推進した結果、令和5年度には労働局より「ユースエール企業」の認定をいただきました。

社屋の設計時には、若手社員による「社屋検討委員会」のアイデアをふんだんに取り入れました。女性社員の更衣室へのパウダールーム設置や、技術系社員のワンフロア集約による「顔の見える関係」の構築、フリーアドレスを見据えた全館Wi-Fiの整備やWeb会議スペースの増設など、時代に合わせたアップデートを続けています。さらに、休憩スペースにはスターバックスの本格コーヒーが楽しめる「We Proudly Serve Starbucks® コーヒープログラム」を導入したほか、2人で社員証をタッチすると飲み物がタダになる「社長のおごり自販機」も設置し、社内コミュニケーションの活性化を図っています。加えて、健康増進と集中力向上のため、デスクや打合せテーブルには立ち姿勢でも使用可能な上下昇降式電動デスクを採用しました。

さいごに

今後も、「技術力の研鑽」「業務領域の拡大」「地域社会への貢献」「社員一人ひとりが幸せに働ける、働きやすい会社へのあくなき探求」に取り組み、創業75周年を目指して、社業の持続的な発展に挑戦してまいります。

（文：代表取締役 萩原 功一郎）